NO	1						
NO. 事業名							
市の事業名	妊婦健康診査事業	新生児及び妊産婦訪問指導事業					
 担当課	こども子育てサポートセンター	こども子育てサポートセンター					
事業概要	妊婦の健康の保持増進を図り、安全・安心な妊娠・出産に資するために適切な健診を行う。 【内容】全妊婦14回 実施体制:福岡県・佐賀県・大分県医師会に所属する医療機関及	乳児の発育・発達状況の確認、保護者の健康、育児相談、及び 乳児家庭の孤立化を防ぎ、乳児の健全な育成を図ることを目的と して、保健師または保育士等が生後4か月までの乳児がいる家庭 を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、健診や予防接種を含む子育					
 設定区域		市内全域					
	受診回数(年間)	訪問指導件数(年間)					
R3年度 実績	(単位:人・回) R1 R2 R3	(単位:人) R1 R2 R3					
	実績 実績 計画 実績	実績実績計画実績					
	量の見込み 妊娠届出数 2,613 2,459 2,680 2,380 健診回数 32,173 29,968 32,160 29,279 対応策 健診回数 32,173 29,968 32,160 29,279	計開対象児童 2,594 2,481 2,641 2,354 計開率 0.98 0.88 1.00 0.96 計開件数 2,530 2,191 2,641 2,257 対応策 訪問件数 2,530 2,191 2,641 2,257					
		※里帰り出産による他市町村対応分含む					
R3年度 実施状況 実績評価		て、保健師・助産師が訪問。第2子以降の比較的リスクの少ないケースは保育士等が対応し、母子の健全な発育発達を支援すると共に虐待予防や虐待の早期発見に努めた。 ※R3年度訪問率・・・96% 【実績の評価】 ・R2年度は新型コロナの緊急事態宣言により一時訪問を中止したため、例年と比較し訪問率が低くなっていたが、令和3年度は感染対策をとりながら、訪問事業を中止することなく実施した。(R2年度の中止対応者にはアンケートを送付し、返信内容を確認し必要時電話フォローを行った)					
R3年度計画の 進捗状況評価	新型コロナの影響で受診控えが懸念されたが、例年と同様の受診 率となり、受診者のニーズに対応できた。 本となり、受診者のニーズに対応できた。						
令和3年度決算額 令和4年度予算額	決算額: 232,944 千円 予算額: 251,799 千円	決算額: 7,049 千円 予算額: 8,473 千円					
R4年度取組内容	引き続き受診しやすい健診体制を確保し、受診率の維持に努め						
R4~R6年度 量の見込み 及び 対応策	(単位:人・回)	(単位:人) R4 R5 R6 計画 計画 計画 量の見込み 訪問率 1.00 1.00 1.00 訪問件数 2,608 2,572 2,534 対応策 訪問件数 2,608 2,572 2,534 対応策 訪問件数 2,608 2,572 2,534 ※里帰り出産による他市町村対応分含む					

NO.	3	4			
事業名	地域子育て支援拠点事業	利用者支援事業			
市の事業名 担当課	地域子育て支援センター事業、地域子育て促進事業(くるるん)、 つどいの広場事業(信愛)、児童センター運営事業 こども子育てサポートセンター	子育て世代包括支援事業 こども子育てサポートセンター			
事業概要	緩和し、すべての子どもの健やかな育ちを地域で支える取り組みを行う。 久留米市では、①地域子育て支援センター事業、②地域子育て	安心して子育てができる環境づくりのため、子ども総合相談機能と母子保健等の窓口機能を合わせもつこども子育てサポートセンターを設置するとともに、身近な相談支援の場として地域センターを設置する。			
	※①~③は未就学児、④は18歳以下を対象				
設定区域 確保方策の	市内全域	市内全域			
単位	利用延べ人数(月間) 	実施箇所数			
R3年度 実績	(単位:人/月) R1 R2 R3 実績 実績 計画 実績	(単位:箇所) R1 R2 R3 実績 計画 実績			
	量の見込み 12,425 5,807 12,576 5,088 対応策 か所数 12 12 12 12	量の見込み 1 1 6 1 対応策 1 1 1 1 1			
R3年度 実施状 実績評価	童センター1箇所、つどいの広場1箇所の計12箇所で、地域子育て支援拠点事業を実施。親子の交流を促すひろば・サロンを実施し、子育て相談を受けたり、情報の提供等を行った。 【実績の評価】 ・R3年度はR2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として、各施設の臨時休館、イベントの中止や利用者数の制限などにより、計画を下回った。 ・そのような中、施設臨時休館中は外出自粛等で孤立しがちな子育て中の保護者の電話相談に応じるほか、子育て世帯向けのセミナーを保護者が自宅にいながら受講できるようオンラインにより	・延べ相談件数 1,729件/年 【実績の評価】 ・子育て交流プラザくるるんでの出張相談会、こども子育てサポートセンターや保健センターでの支援プラン活用などによる寄			
R3年度計画の 進捗状況評価	が、新型コロナウイルス感染症の対策として、利用者数を制限し	厳しい財政状況の中で、新たな施設の設置が難しく、出張相談窓口を設けたり、相談員が個別訪問することなどで、身近な場所での相談支援に取り組んだ。			
令和3年度決算額 令和4年度予算額	決算額: 118,082 千円 予算額: 122,740 千円	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
R4年度取組内容	ホームページや母子手帳交付時など各施設についての情報発信を 積極的に行い、子育て家庭の孤立防止等のため更なる利用促進を	中央センターにおける相談対応および子育て交流プラザくるるんにおける出張相談会を実施するとともに、地域センター設置に向			
R4~R6年度 量の見込み 及び 対応策	(単位:人/月) R4 R5 R6 計画 計画 計画 量の見込み 12,509 12,345 12,174 対応策 か所数 12 12 12 確保量 12,509 12,345 12,174	(単位:箇所) R4 R5 R6 計画 計画 計画 量の見込み 6 6 6 対応策 6 6 6			

NO.	5						
事業名	養育支援訪問事事 地域ネットワー	 業、子どもを守る -ク機能強化事業					
市の事業名	エンゼル支援訪問事業	養育環境改善家事援助事業					
 担当課	こども子育てサポートセンター	家庭子ども相談課					
事業概要	妊娠期から出産後間もない時期(概ね半年程度)の育児に関する不安や負担感を緩和し、育児困難家庭の諸問題を解決するため、産前・産後ヘルパーによる育児や家事の援助を行う。	子どもの養育環境が不適切な家庭に対し、家事援助者を派遣し、家事・育児援助、助言等の必要な支援を行うことにより、養育環境の維持・改善、家庭の養育力及び児童自身の生活能力の向上を図る。					
	+ + A L+	+ + A 1+					
設定区域 確保方策の	市内全域 	│					
単位 R3年度	(単位:人回)	(単位:件)					
実績	R1 R2 R3	R1 R2 R3					
	実績 実績 計画 実績	実績実績計画実績量の見込み実施件数102116165230					
	量の見込み 利用 (実施) 回数 1,991 1,421 2,115 1,912 対応策 利用 (実施) 回数 1,991 1,421 2,115 1,912	量の見込み 実施件数 102 116 165 230 対応策 実施件数 102 116 165 230					
R3年度 実施状び 実績評価	【実施状況】 ・R3年度は利用回数が前年度と比較し増加、支援が必要な家庭への訪問支援が実施できた。 ・延ベヘルパー派遣登録世帯数 953世帯・延ベヘルパー派遣時間数 5,096時間・延ベヘルパー受録人数 16名 【実績の評価】・R3年度はR2年度に比べ利用数が増加したものの、計画をやや下回る利用に留まっている。新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、耐染拡大により、耐染などが収束した際は利用者数の増加が見込まれる。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、家族などから支援を得られない子育て中の家庭への支援となっている。・また、保健師による産前産後ケアの研修を行いヘルパーのスキルアップを図っている。	頓、調理等の支援を行い、生活能力の向上を図った。 ・前年度と比較すると実績は増加し、支援が必要な家庭への記問支援が実施できた。 【実績の評価】 ・前年度と比較すると、派遣世帯数は1件増加し、派遣件数はきく増加した。 ・派遣世帯の中では、児童自身も家事援助者の助言のもと、排除を一緒に行い、児童自身の生活能力の向上につながった事係や、乳幼児の安全な環境整備が可能になった事例もみられた。					
R3年度計画の 進捗状況評価	R2年度に比べ利用者数は増加したものの、新型コロナウイルス 感染症の影響で計画をやや下回っている。しかしながら、新型 コロナウイルス感染症の影響により、家族などから支援を得ら れない子育て中の家庭への支援となっている。	事業の対象世帯については、要保護児童対策地域協議会の受理会議での支援方針に基づき決定している。 計画を上回るニーズであったが、家事支援者との調整を行い、 支援方針に基づき必要な家庭への支援を行った。					
一 令和3年度決算額 令和4年度予算額	決算額: 6,730 千円 予算額: 9,064 千円	決算額: 1,023 千円 予算額: 1,067 千円					
	ハイリスク家庭への訪問などのケースも増えていることから、 研修の実施によりヘルパーのスキルアップや関係機関との連携 強化を図る。	要保護児童対策地域協議会の構成機関の連携により、支援が必要な家庭を把握し、適切な養育環境を確保する取組みを進める。					
R4~R6年度 量の見込み 及び 対応策	(単位:人回) R4 R5 R6 計画 計画 計画 量の見込み 利用 (実施) 回数 2,089 2,060 2,030 対応策 利用 (実施) 回数 2,089 2,060 2,030	(単位:件) R4 R5 R6 計画 計画 計画 量の見込み 実施件数 181 201 224 対応策 実施件数 181 201 224					

		7				
NO. 事業名	6 子育て短期支援事業	ファミリー・サポート・センター事業				
市の事業名	子育て短期支援事業	(子育て援助活動支援事業) ファミリー・サポート・センター事業(就学児)				
担当課 	家庭子ども相談課	こども子育てサポートセンター				
事業概要	向上を図る。	子どもの預かり等、子育ての援助を受けたい人(おねがい会員)と、子育ての援助を行いたい人(みまもり会員)との相互援助活動に関する連絡、調整をファミリー・サポート・センター事務局が行い、地域における子育ての相互援助活動を推進する。				
	市内全域	市内全域				
確保方策の 単位	年間延べ利用者数(人日)	活動件数				
 R3年度	(単位:人日)	(単位:件)				
実績	R1 R2 R3	R1 R2 R3				
	<u>実績 実績 計画 実績</u>	<u>実績 実績 計画 実績</u>				
	量の見込み 利用者数 605 287 435 271 対応策 利用者数 605 287 435 271	量の見込み 活動件数 608 448 577 304 対応策 活動件数 608 448 577 304				
	『☆ ★★↓ 》 □ 『	※対象年齢:小学1〜6年生(6〜11歳) ※就学前児童の利用件数は「No.8 一時預かり事業 (保育所などでの一時保育事業)」に計上				
R3年度 実施状況 実績評価	【実施状況】 ・児童養護施設3箇所(市内1、市外2)および乳児院(市外2)で保護者の疾病、育児疲れ、出産、出張などで家庭での養育が難しい児童の受入れを行った。 ・利用件数 77件 【実績の評価】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策により受入を限定する施設もあった。預かりを必要とする世帯については、市が施設と調整し利用できる環境の確保に努めたが、前年度と比較すると実績は少し減少した。	た。 ・主任児童委員の会議や子育てマイスター認定研修会などで事業説明を行い、会員の拡大の周知に努めた。 《会員の状況(R3年度末)≫ ・おねがい会員 1,271人 ・みまもり会員 448人				
R3年度計画の 進捗状況評価	申請事由と相談内容に基づき、必要な家庭への支援を行った。	おねがい会員のニーズの変化により、就学児の活動件数は減っている。 みまもり会員の少ない地域では活動の調整に苦慮するなど、みまもり会員の確保は引き続いての課題である。				
令和3年度決算額 令和4年度予算額	決算額: 1,696 千円 予算額: 3,028 千円	決算額: 13,585 千円 予算額: 13,623 千円				
R4年度取組内容		予算額・13,623 千円				
R4~R6年度 量の見込み 及び 対応策	(単位:人日) R4 R5 R6 計画 計画 計画 量の見込み 利用者数 435 435 435 対応策 利用者数 435 435 435	(単位:件) R4 R5 R6 計画 計画 計画 量の見込み 活動件数 578 567 561 対応策 活動件数 578 567 561				

NO.	8				
事業名					
市の事業名	一時預かり事業(保育所などでの一時保育事業)	一時預かり事業(幼稚園型)			
 担当課	子ども保育課・こども子育てサポートセンター				
事業概要	家庭子ども相談課 家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳 児又は幼児について、保育所その他の場所において、一時的 に預かる事業。	幼稚園を利用する保護者の多様な保育ニーズに対応するため、通常の教育時間の前後や、土曜日、長期休業日に希望する 在園児を預かる事業。			
 	市内全域	教育・保育提供区域と同じ7区域			
確保方策の 単位	利用者の延べ人数	利用者の延べ人数			
R3年度 実績	(単位:人日) R1 R2 R3 実績 実績 計画 実績	(単位:人日) R1 R2 R3 実績 実績 計画 実績			
	量の見込み 利用者数 16,790 12,052 18,717 11,240 対応策 保育所・認定子ども 園・幼稚園における一時保育 ファミリーサポートセンターによる一時預か り くるるん・児童センター・トワイライトスティによる一時預かり 合計 16,790 12,052 18,717 11,240	区域1 量の見込み 4,920 8,657 5,554 6,204			
R3年度 実施状況 及び 実績評価	【実施状況】 ◇一時保育事業(保育所・認定こども園・幼稚園・事業所内保育所) 市内保育所等27か所で、未就学児の一時的な預かりを実施。 ◇ファミリー・サポート・センターでは、みまもり会員宅での一時預かりを実施。 ◇子育で交流プラザくるるん、児童センターでは、保護者の用事やリフレッシュで利用できる一時預かりを実施。 ◇トワイライトステイでは、児童養護施設2箇所(市内1箇所、市外1箇所)、乳児院(市外1箇所)で一時預かりを実施。 ◇トワイライトステイでは、児童養護施設2箇所(市内1箇所、市外1箇所)、乳児院(市外1箇所)で一時預かりを実施。 ◇保育所等では、保育士の配置に余裕がない状況ながらも、一定のサービス提供が確保されている。 ◇ファミリー・サポート・センターでは、広報等による事業周知により、みまもり会員の登録数は増えてきている。 ◇拠点施設での一時預かり事業では、H28年度に保育士の従事体制を強化したことから、利用者ニーズへの対応が出来ている。 ◇R3年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として、各施設の臨時休館や人数制限により、計画を下回る結果となった。				
	保育所等での預かりは前年度より増えたものの、保育士不足により一部預かりが実施できていない。通常保育と合わせて保育士確保が課題となっている。ファミリー・サポート・センターではみまもり会員の確保に努めているものの、利用者のニーズに応じたみまもり会員の確保が難しく、また会員の高齢化も課題となっている。	区域2,3では実績が計画を下回っているが、その他の区域で 実績が計画を上回り、ニーズ量に対応した体制を確保すること ができた。			
令和3年度決算額 令和4年度予算額	決算額: - 千円 予算額: - 千円	決算額:			
	保育所等での一時保育では、利用回数の増加に対応できるよう、引き続き保育士の確保に努める。 ファミリーサポートセンターでは、事業の周知・啓発により、みまもり会員の充実を図り、実施体制の確保に努める。	認定こども園等における預かり保育のニーズに応じ、引き続き実施体制の確保に努めるとともに、幼稚園型一時預かり事業 (新制度)への移行にあたっては適切な情報提供を行う。			
R4~R6年度 量の見込み 及び 対応策	(単位:人日) R4 R5 R6 計画 計画 計画 量の見込み 利用者数 18,527 18,423 18,310 対応策 保育所・認定子ども 園・幼稚園における― 時保育 ファミリーサポートセンターによる一時預か り くるるん・児童センター・トワイライトステイによる一時預かり	単位:人日 R4 R5 R6 計画 計画 計画 計画 計画 計画 対応策 5,002 5,133 5,200 (東部) 対応策 5,002 5,133 5,200 区域2 量の見込み 16,651 16,228 16,260 (北部) 対応策 16,651 16,228 16,260 区域3 量の見込み 43,254 44,213 43,803 (中央部) 対応策 43,254 44,213 43,803 区域4 量の見込み 21,626 21,802 21,826 (中央東部) 対応策 21,626 21,802 21,826 (中央東部) 対応策 21,626 21,802 21,826 (中央東部) 対応策 7,527 7,520 7,542 区域5 量の見込み 7,527 7,520 7,542 区域6 量の見込み 39,247 39,284 38,462 区域7 量の見込み 6,205 6,012 5,997 対応策 6,205 6,012 5,997			

NO.	9	10			
事業名	延長保育事業	病児保育事業			
市の事業名	延長保育事業	病児保育事業			
担当課	子ども保育課				
事業概要	保護者の就労形態の多様化や通勤時間の長時間化等により通常開所時間(11時間)の前後に保護者のニーズに対応するため延長保育を実施している。	児童等が病気または病気回復期のため、入院治療の必要はないが安静の確保に配慮する必要があり、集団での保育が困難な時期に保育所等にかわって、一時的に当該児童を預かる事業。			
設定区域	教育・保育提供区域と同じ7区域	市内全域			
確保方策の 単位	利用者実人数	延べ人数			
R3年度 実績	(単位:人) R1 R2 R3 実績 実績 計画 実績	(単位:人) R1 R2 R3			
	区域1 量の見込み 319 225 322 275 (東部) 対応策 319 225 322 275 区域2 量の見込み 134 334 333 320 (北部) 対応策 134 334 333 320 区域3 量の見込み 2,539 765 1,126 711 (中央部) 対応策 2,539 765 1,126 711 区域4 量の見込み 449 519 313 (中央東部) 対応策 449 519 313 区域5 量の見込み (中央部) 283 251 204 (中央南部) 対応策 572 600 512 区域6 量の見込み 572 600 512 区域7 量の見込み 339 330 454 427 (南西部) 対応策 339 330 454 427	実績 実績 計画 実績 量の見込み 利用人数 3,283 1,694 3,417 2,814 対応策 利用人数 7,255 9,884 10,200 12,904 ※量の見込み実績:施設の年間延利用者数 ※対応策実績:(施設の利用定員)×(施設の開所日数) =年間受入可能数 =年間受入可能数			
R3年度 実施状況 実績評価	【実施状況】 ◇延長保育事業(保育所・認定こども園、事業所内保育事業所) 市内保育所等74か所で通常保育時間前後の延長保育を実施。 【実績の評価】 ・R3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、一部保育所等の臨時休園や利用自粛の要請があったため、利用者数の減少が見られたが、ニーズ量に対応した体制を確保することができた。	者			
R3年度計画の 進捗状況評価	全ての区域では実績が計画を下回っているが、いずれの区域に おいてもニーズ量に対応した体制を確保することができた。	市内5か所の病院または診療所に付設された施設及び、市内6か所の企業主導型保育施設において総定員50人(うち2人は病後児対応型)で対応し、計画を上回る体制を確保した。感染症流行等(インフルエンザ、RSウイルス、ノロウイルス等)の時期によっては定員を超える利用希望がある。			
令和3年度決算額 令和4年度予算額	決算額: 68,774 千円 予算額: 93,729 千円	決算額: 63,887 千円 予算額: 73,929 千円			
R4年度取組内容	在園児の増加に伴う利用者増に対応できるよう、引き続き保育 士の確保による実施体制の確保に努める。				
R4~R6年度 量の見込み 及び 対応策	(単位:人)	(単位:人)			

NO.		1	1		
事業名	放課後児童クラブ				
 市の事業名	(放課後児童健全育成事業) 学童保育所整備・運営事業				
		→ 15.7	T/		
担当課 		子ども			···
事業概要	保護者が労働等により、 において、指導員により近				字重保育所
 設定区域	市内全域				
確保方策の]1日)	
単位 R3年度	利用者実人数(基準日:各年5月1日) (単位:人)				
実績		R1	R2	R	
		実績	実績	計画	実績
	【】 【 低学年】	4,171	4,137	4,448	3,997
	量の見込み <u>高学年</u> 合計	357 4,528	389 4,526	531 4,979	390 4,387
	対応策	4,528	4,526	4,554	4,387
	≪参考≫R4年度当初定員	員数:4,368ノ	人(専用施設	定員:4,213	人)
【実施状況】 施設整備により定員拡大を図るため、施設整備を行った。 ・城島校区増設(定員40人増) ・西国分校区増設(定員80人増)			うった。		
	市内35校区で高学年の受力 ≪参考≫R2:31校区、38		390名の児童	重が入所した。	
	定員超過校区である6校D ど、学童保育所の保育環境			用した保育を!	実施するな
	≪参考≫R1:3校区、R2 指導員確保のため、国の制	: 5 校区		几遇改 善 複:	数回の採用
R3年度	などに取り組んだ。				
実施状況 及び	夏休み等長期休業期間中の ターへ委託し、夏休み期間				一人例セン
実績評価	【実績の評価】				
	施設整備や学校施設活用による定員増を行うとともに、指導員確保のため 国の制度を活用した処遇改善に取り組みニーズへの対応を図った。				
R3年度計画の	施設整備や学校施設の活用	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		—	
進捗状況評価	増加するニーズに対応するいる。	るため、受入	施設や指導員	真の確保が課	題となって
令和3年度決算額 令和4年度予算額	決算額: 625,316 千円 予算額: 613,132 千円				
	近年増加傾向にある入所に				
R4年度取組内容	校施設の活用をすすめるなまた、指導員の処遇改善な	ゥ募集の工夫			
	し、指導員確保の取組を過	重める。			
			(単·	位:人)	
		R4	R5	R6	
	/r 24 /	計画	計画	計画	
	低学年 量の見込み 高学年	4,551 525	4,466 563	4,425 543	
R4~R6年度 号の見になる。	合計	5,076	5,029	4,968	
量の見込み 及び 対応策	対応策	4,702	4,782	4,822	
対応策					
	<u> </u>				